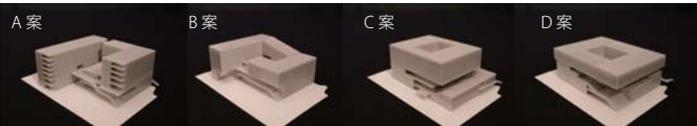


## Concept

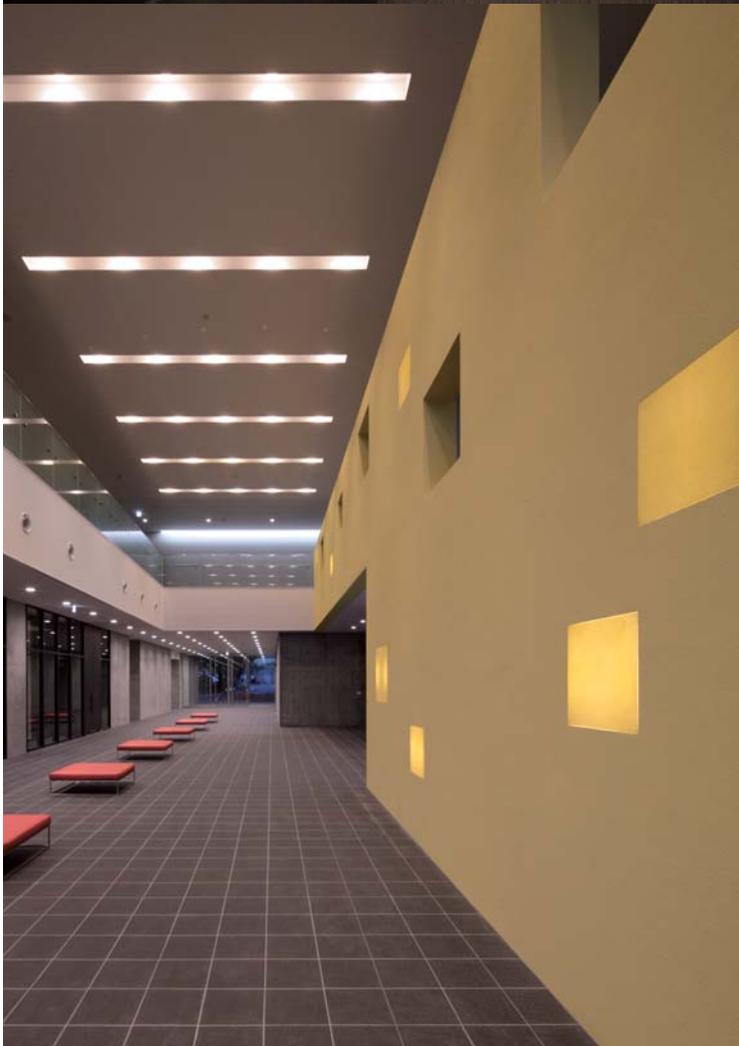
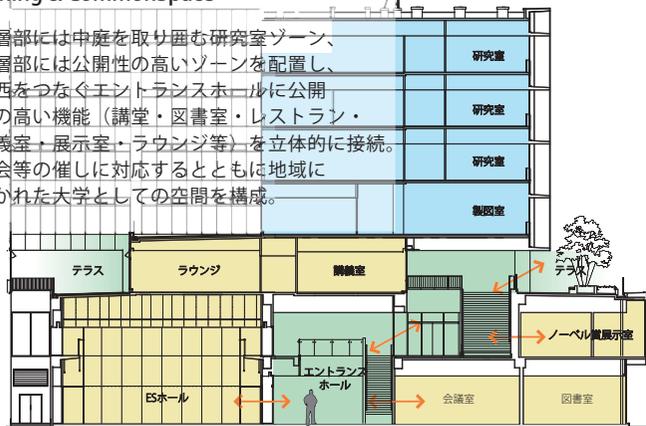
- ・キャンパス・マスタープランの具現化
- ・新キャンパス軸としての歩行者空間の創出
- ・全学的な戦略拠点のための建設スペース確保
- ・機能的で交流を重視した新しい研究スペース
- ・低炭素エコキャンパス実現のための低環境負荷建築
- ・全学共用スペースの確保とスペースチャージ制の試行

▼ 検討段階の4タイプ



## Zoning & CommonSpace

高層部には中庭を取り囲む研究室ゾーン、低層部には公開性の高いゾーンを配置し、東西をつなぐエントランスホールに公開性の高い機能（講堂・図書室・レストラン・講義室・展示室・ラウンジ等）を立体的に接続。学会等の催しに対応するとともに地域に開かれた大学としての空間を構成。



## 名古屋大学 ES総合館

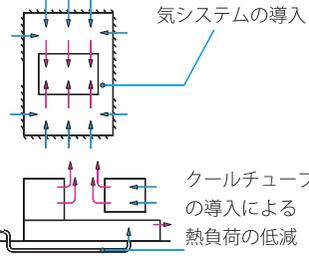
工学研究科中央棟・素粒子宇宙研究棟



Engineering and Science Building  
Central Building of Graduate School of Engineering  
・ Particle and Astrophysical Science Building

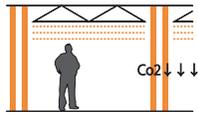
### Window Flow

CFD 解析の結果を踏まえ、外周部から中庭に抜ける自然な空気の流れを生かした自然換気システムの導入



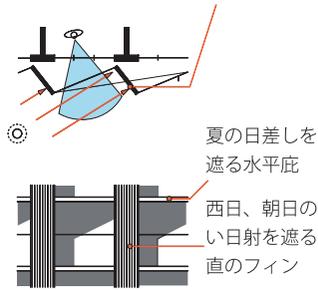
### LED Lighting

全館LEDの実現による低炭素化の推進とLEDならではの照明計画



### Solar Shading

南北軸を向いた外壁フィンによる日射熱負荷の低減、視界はクリアに確保



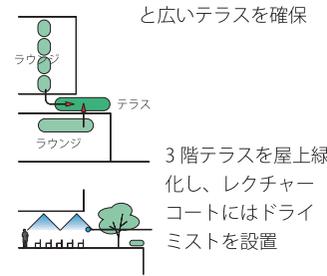
### Exterior Design

名古屋大学らしい掘りの深いファサードデザイン  
豊田講堂と呼应するピロティと大階段  
I B 電子情報館と呼应するガラスのボックス (ノーベル展示室)



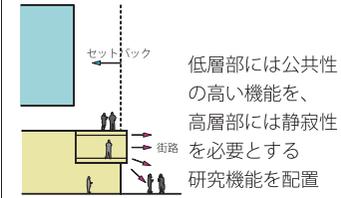
### Lounge & Terrace

エントランスホール、講義室、研究室の周囲に、学生や教員、来訪者の居場所となる複数のラウンジと広いテラスを確保



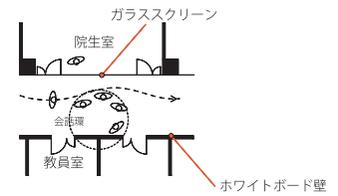
### Town Scope

大学内の街路に賑わいを与える低層部と、圧迫感を低減するためにセットバックされた高層部



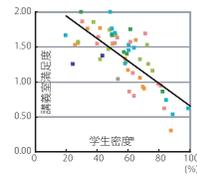
### Laboratory Space

全面ホワイトボード壁と3mの幅により、出会いと議論の場となる研究室エリアの廊下



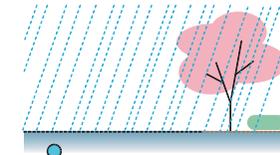
### Lecture Rooms

講義室の満足度調査を踏まえ学生密度 70%を想定した講義室計画



### Green Infrastructure

全面街路との一体的整備において緑や土、透水性や蒸散効果をもつ素材によりグリーンインフラストラクチャーを構築  
既存の桜は可能な限り保存



### Flexibility

基準階を将来的要求の変化に対応できる構造とし、設備要求の変化に対応する地下の共同構とともにフレキシビリティを確保

### Energy Management

各室用途 (空調・照明・コンセント) ごとに電力消費量を計測  
きめ細やかな省エネへの対応

### Color & Texture

周囲の建物 (工学部5号館、環境総合館、理学部E館) の色調や素材と調和を計る

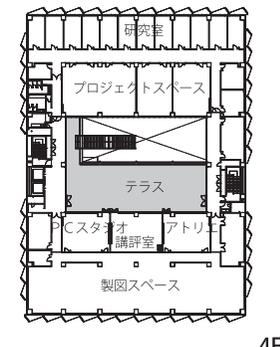
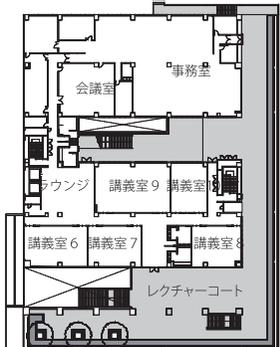
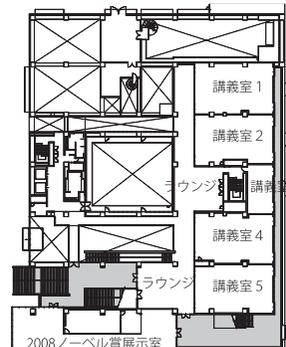
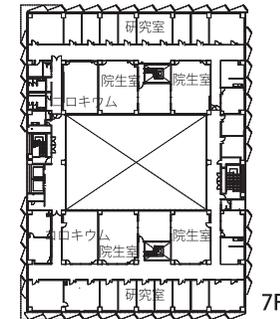
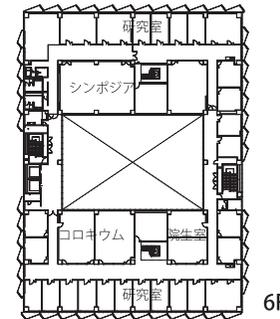
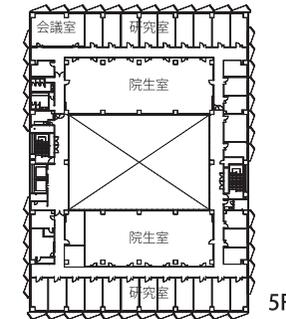
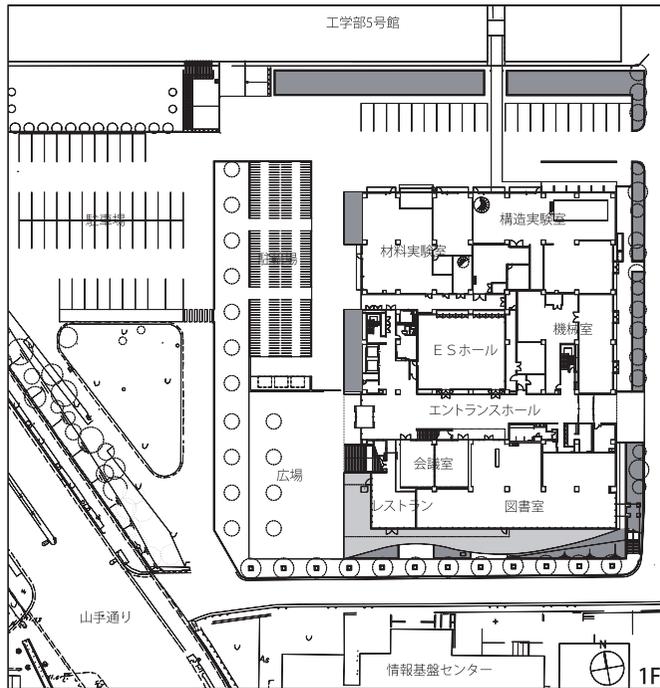
金属製ルーバー+白色系塗装+コンクリート打ち放しの構成

### Future Plan

7階屋上に 200 m<sup>2</sup>の太陽光パネルを設置可能な基礎を用意  
将来の更なる低炭素化に対応

### Eco Material

また、木質系の内装の導入や木造の駐輪場の屋根など、資源のサステナビリティへ向けた新たな取り組みを開始



### Data

延床面積: 15,280m<sup>2</sup>  
構造: 鉄骨鉄筋コンクリート造 (1.2F) 鉄骨造 (3F~7F)

設計期間: 平成21年4月~平成22年1月  
工事期間: 平成22年1月~平成23年3月

基本設計: 名古屋大学工学部施設整備推進室  
名古屋大学施設管理部  
実施設計: 株式会社 久米設計 名古屋支社  
株式会社 総合設備コンサルタント  
工事監理: 名古屋大学工学部施設整備推進室  
名古屋大学施設管理部  
施工: 清水建設株式会社  
第一設備工業株式会社  
トーエネック株式会社

### Area

工学研究科	7,771m <sup>2</sup> (53.4%)
建築系	3,601m <sup>2</sup>
材料系	295m <sup>2</sup>
研究科共用	3,875m <sup>2</sup>
理学研究科	4,023m <sup>2</sup> (27.6%)
全学共用	2,772m <sup>2</sup> (19.0%)
設備室	306m <sup>2</sup>
合計	15,280m <sup>2</sup>